



APIパートナー限定

Yahoo! JAPAN Ads API Webinar

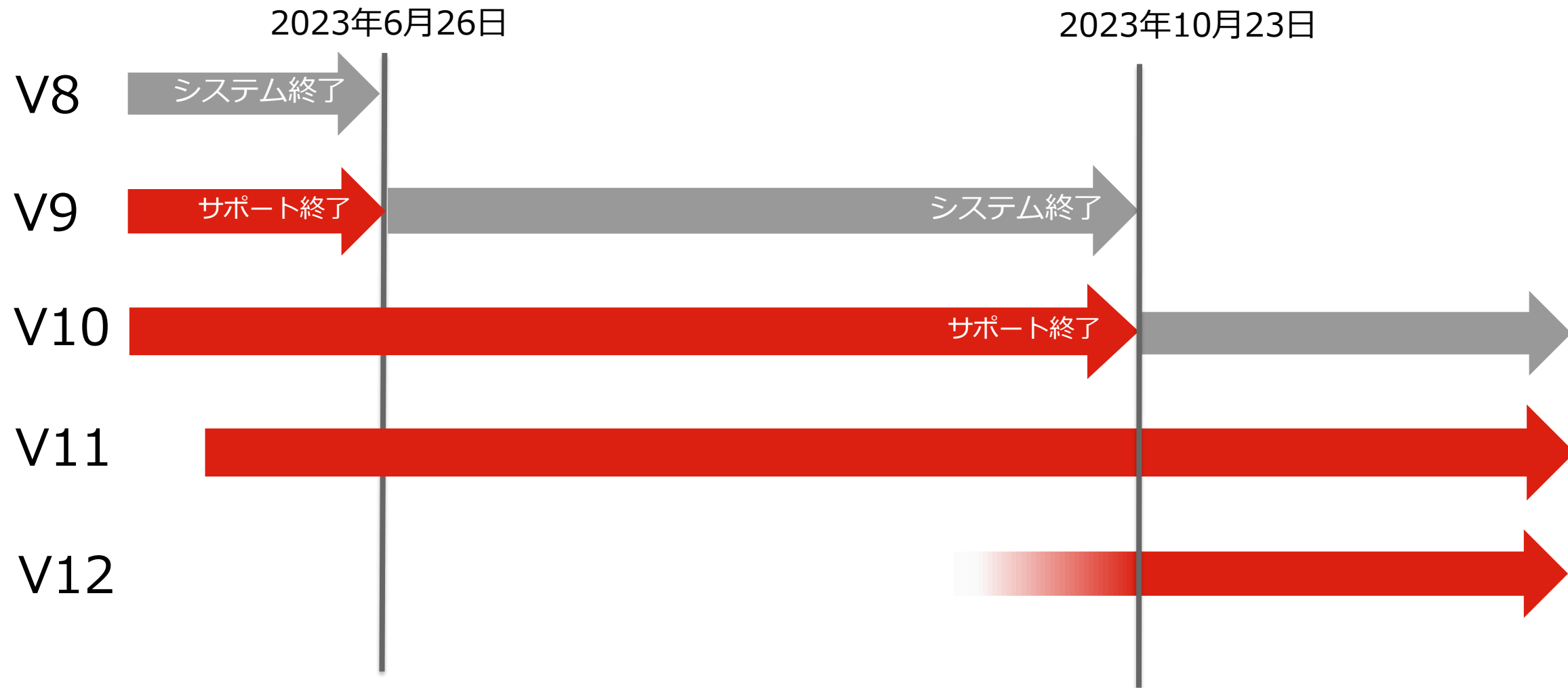
June, 2023

Agenda

1. ロードマップ
2. v11アップデート情報
3. 各種情報共有
4. 前回のアンケートへの回答
5. 質疑応答

1. ロードマップ

Yahoo!広告 APIシステム終了、サポート終了スケジュール

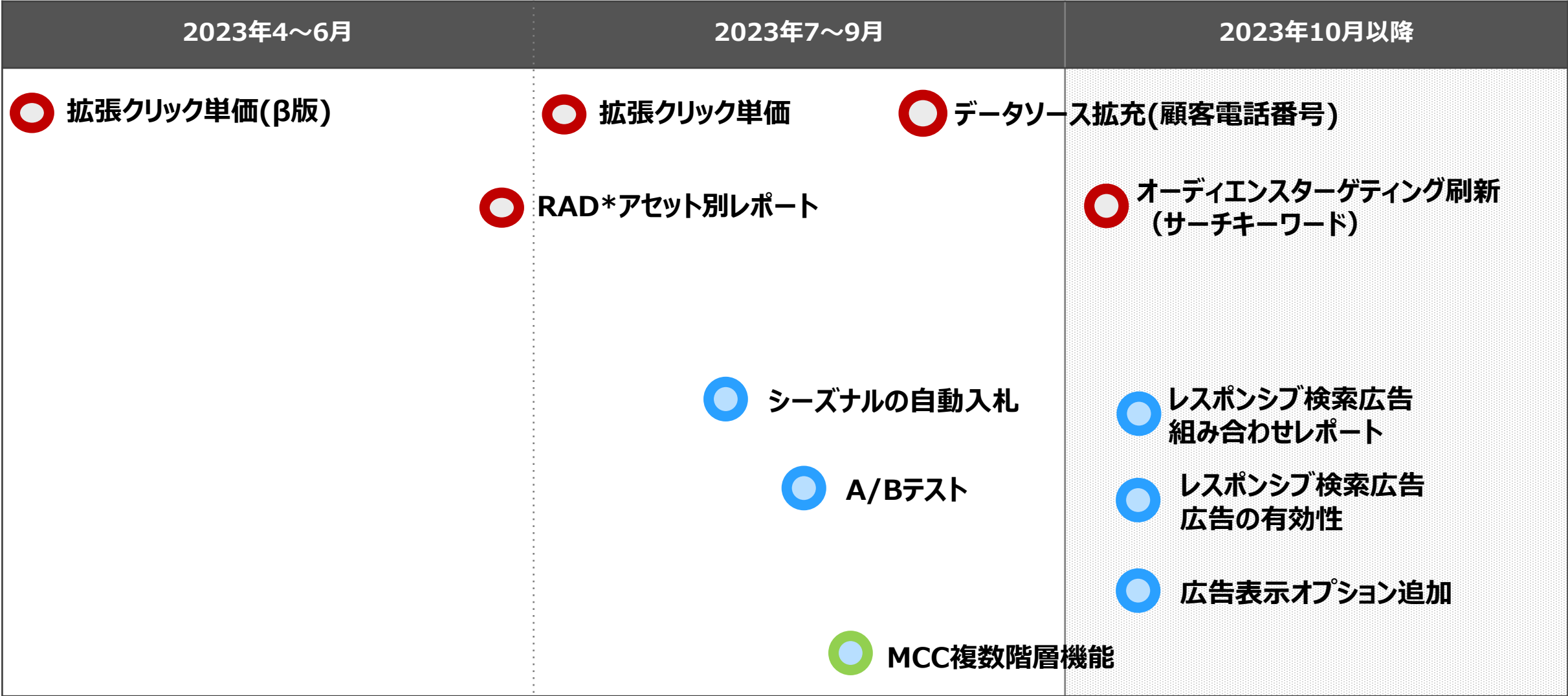


システム終了、サポート終了の予定は下記でも確認可能です。

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/developers-guide/release-note.html>

※Yahoo!広告 API : 以降、APIと表記

API関連ロードマップ



*レスポンシブディスプレイ広告

● Yahoo!広告 検索広告

○ Yahoo!広告 ディスプレイ広告 (運用型)

● 共通

2. v11アップデート情報

Yahoo!広告 検索広告

提供終了済みサービスの削除について

クローズしたサービスをインターフェース上から完全に削除します。

(サービスごと削除)

- FeedService
- CampaignFeedService
- AdGroupFeedService
- PageFeedItemService

(エンドポイントの削除)

- FeedItemService/add, set, remove, setTrademarkStatus

※getは引き続きお使いいただけます。

Yahoo!広告 ディスプレイ広告

レポート項目名称の統一について

検索広告とディスプレイ広告で表記揺れがあったレポート項目名称を統一しました。

項目名称の変更ではなく、項目の新規追加となります。

現行の項目名称は非推奨のため、書き換えをお願いいたします。現行の項目名称はいずれ廃止する予定です。

非推奨となる現行(～v10)の項目	V11で新規追加される項目
IMPRESSION_SHARE_BUDGET_LOSS	BUDGET_LOST_IMPRESSION_SHARE
CLICK	CLICKS
VIEWABLE_CLICK	VIEWABLE_CLICKS
START_DATE	CAMPAIGN_START_DATE
END_DATE	CAMPAIGN_END_DATE
CITY_NAME	CITY
PREF_NAME	PREFECTURE
PREF_ID	PREFECTURE_ID
WARD_NAME	WARD

eCPC 設定必須化について

CampaignService, AdGroupServiceのcpcBiddingSchemeオブジェクトにenhancedCpcEnabledを追加しました。

add/set時共に必須で、trueならeCPC、 falseならCPC扱いとなります。デフォルト値がないため、指定しない場合エラーとなります。

※AdGroupServiceでお使いの場合は、キャンペーンの値と同じ値を設定いただく形となります。

```
CampaignService/set      ~v10
{
  "accountId": 12345,
  "biddingStrategyConfiguration": {
    "biddingScheme": {
      "biddingStrategyType": "CPC",
      "cpcBiddingScheme": {
        "cpc": 100
      },
      ...以下略
```

```
CampaignService/set      ~v11
{
  "accountId": 12345,
  "biddingStrategyConfiguration": {
    "biddingScheme": {
      "biddingStrategyType": "CPC",
      "cpcBiddingScheme": {
        "cpc": 100,
        "enhancedCpcEnabled": "TRUE"
      },
      ...以下略
```

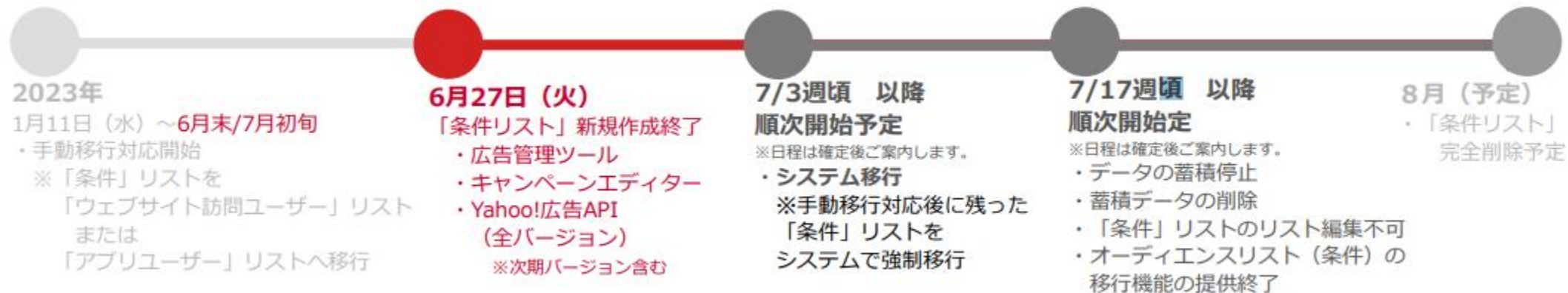
eCPCの入札戦略が使われているキャンペーンや広告グループを過去バージョンで取得すると、入札戦略はUNKNOWNが返却されます。

オーディエンスリストの条件リスト停止について

オーディエンスリストの条件リストについて、6/27（火）以降AudienceListServiceで条件リストを作成できなくなります。

全バージョンaudienceListType：“RULE”でaddするとエラーとなりますのでご注意ください。

なお、お客様側で移行されなかったオーディエンスリスト（条件）を対象にヤフーのシステムによる強制移行を7月初旬ごろに予定しています。



ご参考：ディスプレイ広告（運用型）オーディエンスリスト（条件）の新規作成終了と提供終了までのスケジュール
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/230425.html>

AdGroupAdService/get の広告種別による絞り込みについて

AdGroupAdService/get および GuaranteedAdGroupAdService/get のリクエストに adTypes を追加しました。

TEXT_AD、DYNAMIC_DISPLAY_ADは MainMediaFormat が NONE のため、ご注意ください。

AdType	MainMediaFormat
TEXT_AD	NONE
RESPONSIVE_AD	IMAGE
	VIDEO
BANNER_AD	IMAGE
	VIDEO
DYNAMIC_DISPLAY_AD	NONE
CAROUSEL_AD	IMAGE

※v10より広告種別はAdType、MainMediaFormatを組み合わせたの判定となりました。

ご参考：v10バージョンアップ情報

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/developers-guide/support-guide/release-note/new-on-v10.html>

リンク先URL削除について

■ AdGroupAdService

- ・ v8～v10では、「リンク先URL（プロパティ名：url）」はNULLを返却するように変更します。
- ・ v11では「リンク先URL（プロパティ名：url）」の項目を削除します。

AdGroupAdService /get のレスポンス例 ～v10

```
{
  "adGroupAd": {
    "accountId": 123456,
    "ad": {
      "bannerAd": {
        "url": null, //各広告種別も同様
      }
    }
  }
}
…以下略
```

AdGroupAdService /getのレスポンス例 ～v11

```
{
  "adGroupAd": {
    "accountId": 123456,
    "ad": {
      "bannerAd": {
"url": null, //各広告種別も同様
      }
    }
  }
}
…以下略
```

■ ReportDefinitionService

レポートから「リンク先URL（フィールド名： URL_NAME ）」「リンク先URL ID（フィールド名： URL_ID ）」の項目を削除します。

ご参考：ディスプレイ広告（運用型）「リンク先URL」項目の削除

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/23051001.html>

Yahoo!広告 共通

Java利用者向けクライアントライブラリについて

Java利用者向けクライアントライブラリについて、Spring Framework 6系に対応します。
一定期間の間はこれまで通りの動作環境を維持したバージョン（“-spring5”がついたもの）を並行して提供いたします。

APIバージョン	リリースタグ	Javaバージョン	Spring framework
v11	5.1.0-spring5	8+	5.3.x
v11	5.1.0	17+	6.x.x

Spring framework 5.3系が 2024/12/31 にEOLを迎えるため、“-spring5” 付きのリリースバージョンは、一定の期間を経てサポートを終了する予定です。

クライアントライブラリをご利用のお客様は、なるべく早いうちに

“-spring5” がついていないSpring Framework 6系のクライアントライブラリへ移行していただくようお願いします。

ご参考：Java利用者向けクライアントライブラリ

<https://github.com/yahoojp-marketing/ads-display-api-java-lib>

<https://github.com/yahoojp-marketing/ads-search-api-java-lib>

3. 各種情報共有

レスポンシブディスプレイ広告のレポートの仕様変更について

■ 概要

レスポンシブディスプレイ広告のレポートで、タイトル、説明文を指定した場合の挙動が変更となります。

変更前：タイトル、説明文を指定してもメディアID単位でのレポート出力でした。

変更後：タイトル、説明文単位でのレポート出力となります。

■ 予定日

6月28日（水） **※管理画面のみ。Yahoo!広告 APIではv12以降の対応となります。**

管理画面上では6月28日（水）から仕様変更となりますが、Yahoo!広告 APIではv12以降の対応となります。

タイトル、説明文の動作区分はSegment項目（分割項目）となるため、次回バージョンアップの際はご注意ください。

次スライドで変更前後のイメージをお示しします。

ご参考：【ディスプレイ広告（運用型）】レスポンシブディスプレイ広告におけるタイトル別・説明文別レポート提供開始のお知らせ

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/230613.html>

レスポンシブディスプレイ広告レポートの仕様変更について

変更前後のイメージ

変更前：～v11 ※ただし管理画面は6/28まで

広告名	メディアID	タイトル	説明文	IMPS
広告 1	111	--	--	10
広告 1	222	--	--	20

変更後：v12～ ※予定

広告名	メディアID	タイトル	説明文	IMPS
広告 1	111	タイトル 1	説明文 1	5
広告 1	111	タイトル 1	説明文 2	1
広告 1	111	タイトル 2	説明文 1	3
広告 1	111	タイトル 2	説明文 2	1
広告 1	222	タイトル 1	説明文 1	12
…以下割愛				

ご参考：【ディスプレイ広告（運用型）】レスポンシブディスプレイ広告におけるタイトル別・説明文別レポート提供開始のお知らせ

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/230613.html>

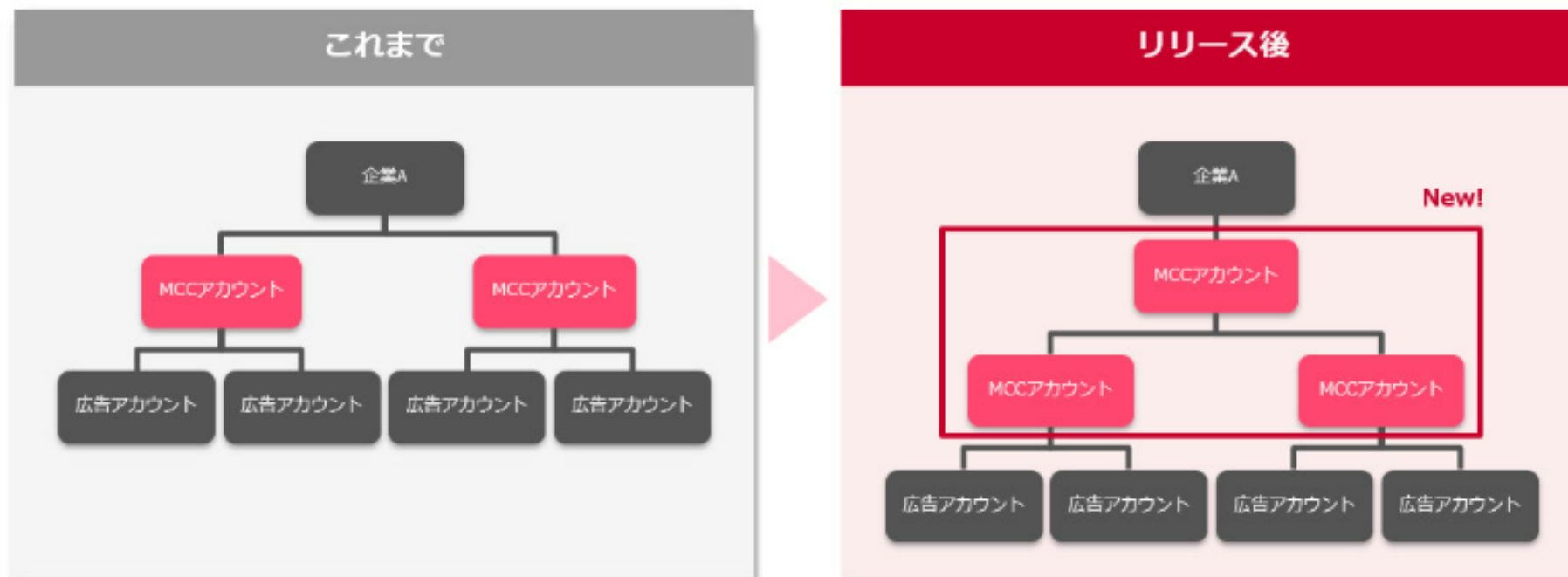
MCC複数階層化について

2023年秋ごろにMCC複数階層化機能がリリースされます。

v11のAccountLinkServiceでは、複数階層化されたアカウントを取得できません。

このため、MCCアカウントの複数階層設定をご利用の際は必ず次にリリースされるv12をご利用ください。

詳細については、次回のv12Webinarでご説明させていただきますので、奮ってご参加ください。



ご参考：Yahoo!広告 MCCアカウント 複数階層構造での設定に対応

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/230608.html>

4. 前回のアンケートへの回答

前回いただいたご質問への回答

前回開催後アンケートにていただいたご質問への回答です。

❓ 数値の精度や動作の要求レベルが高くなってきており、ダウンロードファイルの整合性を検証する必要がでてきていますが、どのようにしたらできるでしょうか。
例えば、ヘッダーにファイル用チェックサムを付与することを検討していただけないでしょうか。



ファイルの最後にEOFをつけているので、そちらをご確認いただくようお願いいたします。

前回いただいたご要望への回答

前回開催後アンケートにていただいたご要望への回答です。

？ リファレンスが見つらく、ネストで項目を整理していますが、項目数が多くてネスト位置を把握するのが大変です。
折りたたみできるような形に変えてもらえないでしょうか？



検討させていただきます。

現状は、各リファレンスで初期表示の「Schema」の隣の「Example Value」にてJSON形式でネストがご確認いただけます。
こちらをエディタ等に貼り付けてご確認いただくようお願いいたします。

Request body

[Schema](#) **Example Value**

CampaignServiceSelectorオブジェクトは、操作の対象とするキャンペーンの情報およびフィルタ条件を表します。

Content-Type: application/json

```
{
  "accountId": 0,
  "portfolioBiddingIds": [
    0
  ],
  "campaignIds": [
    0
  ],
  "containsLabel": true,
  "labelIds": [
    0
  ],
  "numberResults": 0,
  "startIndex": 0,
  "userStatuses": [
    "ACTIVE"
  ],
  "createdDateRange": {
```

前回いただいたご要望への回答



レスポンスで、HTTPステータスが200なのにerrorsにエラーが入るので、ステータスコードでエラーハンドルできないのが何とかならないでしょうか？



HTTPリクエストとしてはOKで、業務エラーとしてerrorsを返している形となります。複数operandの中で、全てがエラーになっている訳ではない場合があるため、このような作りとなっています。

例) 100件operandの中で1件エラーになっている場合など
operationSucceededでエラー/成功の判断をしていただくのがよいかと思います。

前回いただいたご要望への回答



ディスプレイ広告 広告レポートで組合せ不可フィールド、動作区分などの挙動が理解しにくく、実際にAPIリクエストしないと取得できるかどうか判別しにくいので何とかありませんか。



組み合わせ不可フィールドは、[レポート定義](#)のF列「組合せ不可フィールド/Not Compatible Fields」でご確認いただけます。

レポート作成時に、A列のフィールド名が指定されている場合、組み合わせフィールドで指定されているフィールド名を同時に指定することはできません。

レポート定義のF列「組合せ不可フィールド/Not Compatible Fields」を元に業務エラー等でハンドルいただくのがよいかと思われます。

動作区分の考え方については、以下のページをご覧ください。

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/developers-guide/about-report.html>

前回いただいたご要望への回答



キャンペーン配下の広告グループなどの入札戦略値の最大値を返してくれるAPIが欲しいです。



こちら、要望として検討いたします。


なお、CPCに関しては、AdGroupService/getで広告グループの入札価格で絞れる biddingKeywordCpcRange というプロパティがあるので、そちらをご利用いただくことが可能です。


リクエスト例) AdGroupService/get

```
{  
  "accountId": 123456,  
  "numberResults": 10000,  
  "startIndex": 1,  
  "biddingKeywordCpcRange": {  
    "min": 100  
  }  
}
```

広告グループの入札価格が100円以上の広告グループ
※maxは指定不要ですが、maxのみ指定でminの指定がないと常に結果がnullとなります。

前回いただいたご要望への回答

 ReportDefinitionServiceとStatsServiceの使い分けについてベストプラクティスとして追記
いただきたいと思います。

 現在の違いは以下のとおりです。ベストプラクティスへの追記は別途検討いたします。

	ReportDefinitionService	StatsService
概要	検索、ディスプレイ広告両方あり。 管理画面で作成できるレポートと同等のものを取得できる。	ディスプレイ広告のみあり。 管理画面のキャンペーン・広告グループの一覧と同じデータを取得できる。画面上で出している分割項目にのみ対応。
特徴	addでレポート作成指示→getで作成状況確認→downloadで取得という3段階の操作が必要。	getのリクエストで取得対象を指示し、レスポンスで結果が取得できる。
推奨利用方法	<ul style="list-style-type: none">・大量データの取得・複数項目の掛け合わせデータ（デバイス×地域など）	<ul style="list-style-type: none">・当日データの取得・シンプルな統計情報（キャンペーンごとのコンバージョン、コストのみ等）

YAHOO! 広告
JAPAN

Yahoo!広告 ウェブサイト

<https://marketing.yahoo.co.jp/service/yahooads/>